ふじみ野市立さぎの森小学校だより

こころの輪

令和5年3月22日発行
3月号　第15号
児童数399名

あいさつ・元気・学び合い　http://www.fujimino.ed.jp/smori/

学校教育目標	心豊かな子（徳） 体をきたえる子（体） 学び合う子（知）	＜目指す学校像＞ 一人一人が輝き保護者、地域とともに歩む あったかな学校

卒業おめでとうございます

本日、さぎの森小学校**第４２回**の卒業証書授与式を挙行させていただきました。感染防止のため在校生は参加できませんが、本日立派に**８０名**が、本校を巣立っていきます。６年間支えていただいた保護者の皆様、地域の皆様には、心よりお喜びのことと思います。ご卒業、おめでとうございます。

本日卒業する子供たちにとって、**令和２年の２月２８日**（３年生の３学期）は忘れられない日であると思います。前日に安倍首相の記者会見があり、この日に３月からの臨時休校を子供たちに伝えることとなりました。突然やってきた「別れ」。臨時休校、分散登校、行事の中止、変更、感染防止のための新しい生活様式などなど、４，５年生になっても、それまでとはまるで違うコロナ禍での学校生活を送ることとなってしまいました。

職員とこんな会話をした事を覚えています。「この子たちは元気がとりえ。パワーがあり、何かやってくれそう。」活動が制限されるようになった学校生活で、思う存分に自分たちのよさを発揮できなかったかもしれません。もっと歌わせてあげたかった、もっと運動させてあげたかった、もっと楽しい学校行事にしてあげたかった、心苦しい気持ちで一杯です。それでも、今年の卒業生は私たちの期待を裏切りませんでした。さぎフェス、運動会、縦割り活動、委員会活動、音楽会、たてわり清掃などで、さぎ小に**自分から動く**ことのできる**新しい歴史**を作ってくれました。職員と交わした会話通りに成長してくれました。持っているパワーを全開に出せなかった苦しみもあったはずですが、その時できる事に**全力**で前向きに取り組んでくれました。その姿は、確実にさぎの森小学校を変えてくれたと思っています。**さぎの森小学校の自慢**、在校生にとって**「あったかな**６年生」「**憧れ**の６年生」であった６年生に、心よりの感謝を伝えたいです。

校　長　村越　澄子